

■クラス活動分保育計画

0才児用

月	受け入れ	サークル	庭の遊び	おやつ食事	ひるね	引き渡し
4	保護者から離れ、新しい環境に慣れる	イスに座ることに慣れる。	庭に出て、外の気持ちよさを感じる。	イスに座り、おやつ食事をやる事に慣れる。	個々の睡眠に合わせる。	慣らし保育で不安のないよう様子を細かく伝える。
5	挨拶を交わし、入室。声をかけられたら目を合わせる。	集まって座り、みなで遊びなどで楽しさを味わう。	ベビーカーに乗り、さんぽの楽しさを知る。	食前の手洗い、手ふき、食後の口ふき手ふきに慣れる。		挨拶を交わし退室する。声をかけられたら目を合わせる。
6	自分の部屋であるという安心感をもって入室できる。	自分の名前が呼ばれたら、目を合わせ手をあげる。	木や葉に触れて感触を楽しむ。	口に入れてからモグモグと口を動かす(かむ)意識する(保育者のマネをする)	睡眠のリズムをつかみ、生活に合わせて整えてみる	
7	自分から進んで活動へ向かってゆくことができる。		水遊びを楽しむ。			笑顔で挨拶し、明日へと気持ちがつながるようにする。
8		絵本に興味を持ち、最後まで見る。		楽しい雰囲気の中で「おいしいね」などの会話を楽しむ。	ひるねの時間なのだということが分かるようになる。	
9		手遊びを見ているだけでなく動作をマネしてみる。	くつを嫌がらずに履き、つかまり立ちや歩行を試してみる。	スプーン、フォーク、マグ、コップなど正しい持ち方をマネる。		

■クラス活動分保育計画

〇才児用

月	受け入れ	サークル	庭の遊び	おやつ食事	ひるね	引き渡し
10		さんびかに耳を傾け、お祈りをしてみる。	木の実や葉を拾うなど、秋を感じながら遊ぶ。	こぼしながらも、手づかみやフォークを使って口まで運ぶ。	フトンに横になり、眠ろうという姿勢になる。	
11		保育者のしていること(人形遊びなど)を見答えて、受け答えしえみる。				
12		クリスマスの雰囲気を楽しむ。座って周りのしていることを見る。	平らなところだけでなく、坂になっている所を歩いてみる。	「いただきます」「ごちそうだまでした」の挨拶を、感謝の気持ちでしてみる。	トントンを嫌がらず、フトンで眠る。	
1		鈴の合図でイスに座り、サークルが始まるというスタイルを知る。	寒さも感じながら、日向ぼっこや体を動かした暖かさを味わう。	苦手なものも口に入れてみようとする。	早く目覚めても、フトンで静かにしているようにする。	
2		さんびかや動揺を聞き、覚えたところを歌ってみる。	カップやシヤベルを使って遊ぶ。	食材の名称を知り、味、色などを感じる。		
3		お祈りの時は、心を静かに手を組むことが分り、「アーメン」と言うてみる。	好きな場所、好きな遊びへ、自分で分りてみる。	フォークを使って口へ運ぶようにする。		

■個別活動分保育計画

〇才児用

	手、指、腕筋の活動調整	足、腰、背筋の活動調整	聞く、話す 歌う	生活習慣 情緒面
4	欲しい物に手を伸ばし、つかむ。	腹ばい、ハイハイ、お座り、つかまり立ち、それぞれを次のステップへ向けてゆく。	やさしく、はっきりとした言葉で、豊かな感情を込めてあやしたり話しかけたりして喃語を引き出す。	保育室、保育者などの新しい環境に慣れるよう、安心できる雰囲気をつくる。
5	押して音を出す、振って音を出すなど、楽しみながら行う。	棒をつかみ、つかまり立ち、伝い歩きをする。	手遊び、歌を楽しむ。動作を言葉を連動させて表現する。	情緒の安定をはかり、信頼関係を築く。 口ふき、手ふきを嫌がらずにする。
6	穴の中にパズルや球体を落とす。また容器の中から取り出す。	目標物に向かって移動する。靴に慣れ、室外でも安定して移動できるようになる。	名前を呼ばれれば、自分のことだと分かる。	食事、睡眠のリズムを整えてゆく。 おむつ替えを嫌がらずにする。
7	色々な形(平面、立体)や素材に触れてみる。	広い空間で色々な移動運動をする。	要求や発見を、指差しで伝える。示した物の正しい名称を伝える。	食前の手洗いを意識する。 衣服の調整や水分補給に気を配る。
8	水遊びを通して、水の感触を知る(水面を叩いたりカップですくったりこぼしたり)	追いかけてこの楽しさを知り、ハイハイや歩行で長距離を動いてみる。	喃語、自己表現が活発になる。	汗拭き、着替えをこまめに行い体温調節する。 水分補給にも気を配る。
9	スプーン、フォーク、マグマグ、コップの持ち方を知り、やってみようとする。	音楽に合わせて身を揺すったり体操したりする。	歌に合わせて、手遊びなどをマネしてみる。	活動しやすい環境を整え、一人遊びを充実させる。

■個別活動分保育計画

〇才児用

月	手、指、腕筋の活動調整	足、腰、背筋の活動調整	聞く、話す、歌う	生活習慣、情緒面
10	つまんだり、フォークを使ったりして口へ運び、こぼさないように意識しながら動く。	ボールを追いかけたり、つかんで投げたりする。大きいボールは両手で、小さいボールは片手で。	サークルで讚美歌を歌い、お祈りをする。静かな雰囲気をつくる。	手でつかんだり、フォークに手を伸ばしたりなど、自分で食べようとする。
11	トンカチで球やクイを打つ。マネて、手、指を使った手遊びをする。	イスに、自分で座れるようにする。また、安定して降りられるようにする。	保育者の問いかけに、声を出したり、ポーズをとったりして受け答えする。	好きな場所で遊びができ、集中してじっくり楽しむことができる。
12	パズルのつまみをつまんで外し、枠にはめ込む。	平らな所だけでなく、坂になっている所を歩く。	絵本を通して言葉を知り、覚えてゆく。同じ表現の繰り返しによる、言葉のリズムを楽しむ。	自己主張ができるように、気持ちを十分に受け止める。
1	小さい物をつまむ。ヒモを引っ張る。本をめくる。	イスに慣れ、安定して座れるようになる。	マンマ、ワンワンなど、一語文がたくさん出るようになる。	友達と共感する喜びを味わう。自分から友達にかかわっていきこうとする。
2	色々な形のフタを開ける。ねじる物にも挑戦する。	転がったり、しゃがんだり、ジャンプしたりなど、さまざまな動きに挑戦する。	保育者、友達の名前を覚え、指でさしたり、呼んだりする。	一人で食べられるよう、見守りながらタイミングをは考える。
3	シールを、台紙からつまんで貼る。貼る。	歩行が確立し、手をつないで階段の昇り降りをする。	「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」など、かかわりの中で表現できるように促す。	排泄のサインを見逃さず、便座に座ることに慣れる。また、オムツに出たことを伝える。

■クラス活動分保育計画

1才児用

月	受け入れ	サークル	庭の遊び	おやつ食事	ひるね	引き渡し
4	新入園児、在園児ともに安心して過ごせるようにする。	サークルに参加し、手遊びしたり、絵本を見ることを楽しむ。	外気に触れ、気分転換する。	食卓につき、おやつや食事に興味を持つ。	保育者の存在を感じながら安心して眠る。	一日の様子を伝える。 (機嫌の良し悪し、食事、ケガ、発病)
5	保護者と、分離できるよう配慮する。	保育者をマネて、お祈りで手を合わせる。	園庭の動植物に触れ合い、自然を楽しむ。	挨拶をしながら食べ始めることを気づく、待つことを知る。	フトンで、心を落ち着けて入眠する。	
6		名前を呼ばれたら返事をする。	広場や、園外の公園さんぽなど、地域の環境と触れ合う。	手づかみから、フォークを使うことを知り、こぼしながらも自分で食べてみる。	睡眠のイズムを整える。	
7	暑さに対して、家庭での様子に留意し、健康管理を心がける。	讚美歌のメロディを聴き、楽しむ。	夏の暑さを感じながら、水遊びを楽しむ。	「いただきます」と言葉で表してから食べ始める。	毛布からタオルケットへ替える。	
8		色々な遊びや歌を、保育者と一緒に楽しむ。	身体が冷えないように配慮する。	水分補給に十分配慮する。	自分の布団を見つけて、横になる。	
9		絵本、紙芝居、ペープサートに興味を示し、見せて楽しむ。	ボールを使った遊びを楽しむ。	食材の形や硬さを感じて、よく噛んで食べる。	入眠するまで、フトンの中で静かに過ごす。	帰りの挨拶を交わす。

■クラス活動分保育計画

1才児用

月	受け入れ	サークル	庭の遊び	おやつ食事	ひるね	引き渡し
10	友達同士で挨拶を交わすことができるようにする。	出席点呼で友達の名前を聞き、興味を持ち、意識する。	運動会に参加する。駆けっこ、ダンスなど、身体を動かして楽しむ。	お弁当の中身に興味を持ち、楽しみをもつ。	目覚めてもすぐに起き上がらず、横になったまま静かに過ごす。	
11	冬に向け、家庭での様子に留意し、健康管理を心がける。	日付や天気に関心をもち、保育者と一緒になってみる。	季節を感じながら、木の実や葉などの自然と触れ合い、興味をもつ。	食後、自分で口のまわりや手をタオルで拭けるようになる。		
12		讚美歌やアドベントカレンダーなど、クリスマスへの興味をもつ。	冬の寒さを感じながら、活発に動いて遊ぶ。	フォークを使って、こぼさないように食べるようになる。	早く目覚めても、まだ眠っている友達に気づき、配慮できるようにする。	
1	休み明けの体調に注意し、心の安定を図り、生活リズムを取り戻す。	新しい年になったことを知り、挨拶をする。お正月の話をする。	全身を大きく動かして遊ぶ。走ったり跳んだりする。	苦手なものを、少しずつ食べてみる。		
2	積極的に挨拶をし、入室できるようにする。	落ち着いて席に座り、保育者の話をよく聞く。	自分で靴を履いてから、戸外へ出る。みなで並んで歩いてみる。	おやつ時は、エプロンを外し、ナプキンをする。	起きたらトイレに行くようにする。	
3		欠席の友達に気づき、保育者に伝える。	固定遊具で遊び、慣れる。	ナプキンを外し、一人で完食できるようにする。		

■個別活動分保育計画

1才児用

月	手、指、腕筋の活動調整	足、腰、背筋の活動調整	聞く、話す 歌う	生活習慣 情緒面
4	物を手でつかんだり、指先、腕全体を使って動かしたりすことを経験する。	室内や園庭を歩くことで、環境に慣れ、適応してゆく。	表情をよく見せ、アイコンタクト、スキンシップを図りながらコミュニケーションをとる。	新しい環境に、慣れて安心するよう、声掛けやスキンシップを心がける。 毎日、視診する。
5	手のひらや指さきを使って、物をつかんだり落としたりする作業で、調整することを経験する。	階段の手すりにつかまって昇降する。 (保育者が片手をつなぎ補助)	ハッキリとした手遊び、絵本の読み聞かせで、見たり聞いたりすることに親しむ。	挨拶する(登降園、食事、午睡)ことにより、生活リズムをつける。 健診により健康を把握する。
6	木玉を叩いたり、ヒモを引いたりすることで、手と連動して腕を大きく動かす経験をす。	離れた遊び場まで、保育者と手をつないで歩く。	今月の歌や讚美歌に耳を傾け、味わう。拍子をとる。	汗拭きや着替えをこまめに行い、単調管理しながら、清潔でいることの気持ちよさを知る。
7	指先で、ツルツル、ザラザラした面を触ったり、草木、砂などに触れたりして、感触を楽しむ。	自分で、椅子に座ったり降りたりする。	分かりやすい、ゆっくりした語りかけで、言われていることを理解できるようにする。	快適な環境、水分補給、十分な睡眠で、身体を休ませるよう配慮する。
8	すくったり注いだり、水遊びを通して、水の感触を楽しむ。	水の入った容器を持ち運ぶ。	幼児語、擬音語的な名詞を発しながらも、正確な音も聞いてゆく。	
9	両腕を使うくらいの動きなので、物を持ち上げたり運んだりする。	保育者のマネをして、簡単な体操をす。	友達や保育者、物などの名称を知ってゆく。	

■個別活動分保育計画

1才児用

月	手、指、腕筋の活動調整	足、腰、背筋の活動調整	聞く、話す、歌う	生活習慣、情緒面
10	ボール遊びを楽しむ。 転がす(手、手首) 投げる(手首、腕) 追う、拾う(手)	運動家に参加して、 体操や、身体を大きく動かす体験をする。	お話や絵本の読み聞かせを繰り返し、語彙を増やす。	トイレでの排泄を美莉なく誘い、習慣づけを始める。
11	積み木を積み上げたり、ブロックを組み合わせてつないだりする。	長めのトンネルやロープの中を、ハイハイや屈んで通り抜ける。	身近な人や物の名称と実物を一致させる。	健康診断により、身体の状態をここに把握する。
12	指先を使った活動を発展させる。 3本指でつまむ。 (ようじさし、ヒモ通し(小)など)	音楽に合わせて、振りを覚えてダンスする。	クリスマスの讃美歌に親しむ。	食事の介助が最低限で食べられるようになる。
1	フタの開閉を、指先、手首をひねって行う。	坂や斜面を、足だけで登る。 バランスを取りながら下る。	保育者からの簡単な指示を理解し、行動する。	食事、着替え、排泄に、意欲、興味を持ち、自主的に試してみる。
2	クレパス、クレヨンで、自由になぐり書きして楽しむ。	リトミック遊びを楽しむ。 駆け足、ジャンプ(両足)をする。	讃美歌などの歌詞の一部を覚えて歌う。	手洗いをしっかり習慣づけ、風邪の予防に努める。
3	シールを、台紙からはがして、紙の枠を目標に貼る。	手を後ろに組んで、バランスを保って歩く。	友達や保育者との会話で、自分の気持ちや要求を、言葉で伝えてみる。	進級に向けて、楽しみを持たせつつ、心身の安定を図る。

■クラス活動分保育計画

2才児用

月	受け入れ	サークル	庭の遊び	当番活動	おやつ 食事	ひるね	引き渡し
4	新しい保育室に保育者、保育心でよき配慮する。	席についで集まることを知る。	そとの気持ちを感じ、春の動植物に親しむ。		食前、食後の挨拶をする。	自分のフトンを見つけ、そこに横になる。	お迎えに来た人を確認し、様子を伝える。
5		保育者と目を合わせ、話を聞くことを知る。			フォークで食べる習慣、持ち方に気をつける。	目覚めてトイレに行きたい時には行く。静かに待つ。	
6	入室し、保育者と挨拶を交わす。	楕円形の白線に、椅子の脚を合わせ座る。	雨がりの地面で砂遊びをさせ楽しむ。		自分で口をきれいに拭く。献立に興味をもつ。	気候に合わせて、上掛けの調整をする。	
7			水遊びを楽しむ、水に親しむ。	フトンのたたみ方を提示し、午睡後は自分のフトンたたむ。	水分補給を十分し、健康を保つ。	睡眠がよく取れるよう、室温など環境を調整する。	
8		絵本、紙芝居に注目し、静かにみる。					
9	登園時の支度保護者と一緒に支度を行う。	手を組み、目を閉じてお祈りする。	ママゴトやゴッコ遊びを通して、数名のグループ遊びを経験する。	たたんだフトンを持ち運ぶ。	食べこぼしに気づき、おこぼし入れに入れる。	午睡前は静かにし、入眠の準備をする。	

■クラス活動分保育計画

2才児用

月	受け入れ	サークル	庭の遊び	当番活動	おやつ 食事	ひるね	引き渡し
10	シューズを履いて入室する。	自分の名前を呼ばれたら、手を挙げて返事をする。	運動会を通して、ルールのある運動、競技をする。		こぼさないように食べようとする。	上掛けを自分でかける。	シューズを箱に入れて降園する。
11		ピアノを聴き、讃美歌を歌う。	午後の外遊びのルールを知り、年長児と関わりをもって遊ぶ。	フトンを運ぶ当番活動をする。	季節の野菜に親しみ、料理を楽しむ。		帰りの支度を、お迎えの人と行う。
12		アドベントの飾りをするなど、クリスマスを楽しみに待つ。	落ち葉や木の実は自然物で、オマゴトをさせる。			早め目覚め、眠っている人を起こさないよう、静かに待つ。	
1	長期休暇の様子を伺い、受け入れる。	自分の名前を言うようになる。	体が温まる遊びを紹介して、身体を動かしてみる。		色々な食材を残さず、きれいに食事に興味を向ける。		
2	帳面を紹介し、今日のどこを押し、明日のどこを押し、判を押す。	周囲の状況に惑わされず、集中して参加する。	午後の外遊びのルールを知り、年長児と関わりをもって遊ぶ。				
3	帳面をしるし、しるしを習慣化する。	話をよく聞き、問いかけに答える。	滑り台のルールを知り、経験をする。				帰りの支度を、お迎えの人に見守られながら、自分で試してみる。

■個別活動分保育計画

2才児用

月	身体各部の活動調整	感覚を通じた認識の整理	ことば・かず・歌う	生活習慣 対人面ほか
4	手のひらで握る動きから、親指と人差し指でつまむ動きを意識する。	大きい、小さいという感覚を、並べたり積んだりすることで、感じ取る。	挨拶の言葉や友達の名前を耳にすることにより、覚え声に出して言う。	クラスの一日の流れを知り、保育者や環境に慣れる。
5	イスにシッカリ座る。席を立つ時はイスを机の下に収める。	赤青黄三原色に注目し、環境の中の色を意識する。	手遊びや歌、絵本を、みなと一緒に楽しむ。	友だちや保育者の名前を知る。
6	ねじ式のフタの開閉を経験し、水道の蛇口の開閉へとつなげる。	さまざまな素材、感触のものに触れ、その違いを感じ取る。	讚美歌や今月の歌に親しみ、一番を歌えるようにする。	活動の合間にトイレに誘い、排泄の感覚に気づく。
7	手の位置、腕の動きを意識して、イスを運ぶ、静かに置くを行う。	水遊びを通して、水の性質を知り、冷たさや感触を楽しみながら感じる。	毎日の日付、曜日、天気を保育者が声にすることにより、数への興味へつなげる。	水分補給、衣類の調節に留意する。
8	トレイに乗ったものを落とさないようにする全身調整を行う。		友だちと関わる中で、感情を言葉で伝えるようにする。	午睡をきちんとすることにより、暑さによる疲労を防ぐ。
9	親指、人差し指、中指を、開いたり閉じたりの動きを、道具を用いて経験する(トング、グリップ)	生活の中で小さな鈴の音に気づき、静止できるようにする。	季節感のある歌を楽しく歌い、イメージを広げる。	楽しく食事する中でも、フォークの持ち方も意識する。

■個別活動分保育計画

2才児用

月	身体各部の活動調整	感覚を通じた認識の整理	ことば・かず ・歌う	生活習慣 対人面ほか
10	視覚、上半身、下半身の調和をとり、運動会を迎える。	音楽に合わせて体操やダンスをすることで、楽しみながら音感を養う。	自然に親しみながら、木の実の名前や、集めた数に興味をもつ。	布パンツで過ごす経験から、快適さを感じるようにする。
11	ボールなどを用い、全身を統合して動かす。	寒暖の差、風邪の強弱など、冬へと季節が変わってゆく様子を、肌で感じ、言葉で表現する。	讃美歌や今月の歌の歌詞を覚え、2番以降も歌えるようにする。	汚れた服をビニール袋に入れ、ロッカーから必要な衣類を選び、着替える。
12	ハサミを使って活動する。目、両手の調整を図る。		クリスマスの歌、讃美歌を歌う。アドベントの飾りを、毎日一つずつ付ける。	友達と関わることで、楽しさを共有し、気持ちを言葉で表現する。
1	えんぴつを正しく持つようにする。	手指の感触を通し、素材の違いや温度差を感じる。	友達とのかかわりの中で、相手の言葉に耳を傾けるようにする。	食器の扱いを丁寧に行えるよう意識する。
2	回りの様子に気づいて、静の動きにも対応する。	混色の名称が一致するようにする。(色板Ⅱ、Ⅲ)	大きい、小さい、長い、短いなど、物の大きさ長さの言葉を正しく使えるようにする。	排泄の感覚に気づき、自分のペースでトイレに行く。
3	四肢の協応力、バランス感覚が身につくようにする。	身の回りや季節の移り変わりに気づき、進級を楽しみに思うようにする。	物の名称の一致を理解し、文字への導入を行う。(絵合わせカード)	幼児クラスの様子を知ることで、進級への準備を図る。

■クラス活動分保育計画

3～5才児用

月	受け入れ	サークル	庭の遊び	当番活動	おやつ 食事	ひるね	引き渡し
4	朝の健康チェックをしながら、子どもの様子を知る。	鈴の合図で活動の手を止め、保育者の話を聞くようにする。	クラスの子どもを集めて、庭の危険な場所を見て回る。	フトン当番の活動をする。(年長児のみ)	食前には、きちんと石けんで手を洗うことを伝える。	落ち着けるように、3才児を主に傍らに浴うよう心掛ける。	保育者、友達にさよならの挨拶をするよう、声掛ける。
5	保育室へ入室するとき、挨拶する。	サークルなどの活動を楽しんで参加する。	遊具の使い方、片づけ方を知り、楽しく安全に遊ぶ。	フトンを敷く前は、シューズをきちんと揃える。	友達、保育者とのお話を楽しみ、食べる。	午睡前、クラスでトイレに行ってから移動するよう心掛ける。	棚に荷物がないか、確認する。
6	ドアの所で保護者と離れる。	手遊びや歌などを楽しみながらやってみる。	好きな遊びを見つけて、自由に遊ぶ。	両手でしっかりとフトンを持ち運ぶ。	食事のマナーを知り、回りにも配慮する。	フトンにスムーズに入るよう準備しておく。	
7	登園し、お弁当、水筒をカゴに入れる。	サークル中、回りに気を配らずに保育者の話を聞く。	水遊びを楽しみ、見せずに親しむ。	フトンを整然と伸ばして、きちんと敷く。	三角食べつに気が付いたら、食べ始める。	暑さなどで眠れなくても、体を休ませるため横になる。	帰りの身支度をし、お祈りをし、「お祈り」をする。
8	日付を確認し、お帳面にシールを貼る。	回りにも目を配り、落ち着いて座るようにする。	水の苦手な子どもは、ゆっくりでも触れてみる。		水分補給に十分気を配る。	暑さなどで眠れなくても、体を休ませるため横になる。	帰りの挨拶をきちんとする。
9	入室する際、心を落ち着かせる。	礼拝の意味を感じ、静かに参加する。	気の合う友達とグループで遊ぶ。			ご糞中にトイレに行きたくなったら、保育者に声をかける。	お迎えが来たら、中絶して帰れるようにする。

■クラス活動分保育計画

3～5才児用

月	受け入れ	サークル	庭の遊び	当番活動	おやつ 食事	ひるね	引き渡し
10	登園して から、積 極的に活 動を探 す。	早寝早起 きの話を し、リズム を整える。	大きなグ ループを 作り、遊ぶ ことを楽し む。		食べ物を よく噛むこ とに注意し ながら食 べる。	フトンを、 ひとりで たためるよ うにする。	忘れ物が 無いよう 配慮す る。
11	活動中の 友達の邪 魔になら ないよう 配慮す る。	歌やお祈 りを、きれ いな声で できるように する。	ルール遊 び取り入 れ、それを 守って遊 ぶ。		こぼしてし まった時 の始末を、自 分できち んと行う。	午睡前、ト イレに行く のを忘れ ないように にする。	園であっ たできご とを、自分 から保護 者へ伝え る。
12		みなの前 でも、ち んと話し たり発表 したりす る。	自然物に 触れる遊 びを取り 入れる。	分担して 活動する ことを進 める。	クリスマ スのケー キ飾りを みなが 楽しむ。	午睡後の 身支度を スムーズ に行う。	
1	自分の身 支度がで きたら、3 才児の手 伝いをす る。	手洗い、 うがい、 うするよ うに声か けする。 伝染病の 話をす る。	冬の体験 を楽しむ。 (雪、氷、 霜)		苦手な食 事にも少 ずつ挑 戦してみ る。		次の日に つながる よう、笑 顔で帰 る。
2		必要な 時は、積 極的に手 を挙げ、 意見を する。		子どもだ けで一連 の流れを つくり、 活動を進 める。		早く目覚 めても、 フトンで 静かに待 つことを 心がけ る。	
3	保育者の 手を借り ることな く入室し 、身支度 をすませ る。	みなで参 加する理 解をし、 約束を 守る。	運動的な 遊びを取 り入れる。 勝敗への 関心を高 める。		お弁当づ くり。 おにぎり を自分で にぎる(遠 足)		すべての ことが、ひ とりで 行えるよ うに心が ける。

■個別活動分保育計画

3才児用

月	身体各部の活動調整	感覚を通じた認識の整理	数える・書く ・読む	自然や社会への関わり
4	新しいクラス的环境に慣れ、ゆっくとした歩調で歩く。	生活の中での環境や経験を活かし、大きい小さいを比べ、識別する。	身の回りにある。物の名称を知り、繰り返し替えることで覚える。	正しい生活の流れを知る。ロッカーや水筒、お弁当などの置き場所を知る。
5	イスの正しい持ち方、運び方を知る。教具や道具を目的の場所まで両手で持ち運ぶ。	三原色の名称を言えるようになる。他の色との識別ができる。	環境の中にある数字や文字に気づき、興味を持つようになる。	花に水を与える。自分の所持品を置いたり、片づけたりする。
6	音を立てないように、落ち着いて歩く。物を静かに置く練習をする。	袋の中から、指先の感触のみで、相手と同じものを識別し、取り出す。	えんぴつの正しい持ち方を知る。	色々な約束を知り、守れるようにする。
7	水分補給など十分に気をつける。ストロー、紙、玉の穴に、ヒモを通す。	大きい、小さいだけでなく、「太い」「細い」、「長い」「短い」を比べて識別する。	身の回りの中で興味あるものの名称を、文字から見つける。	着替えや排せつ、手洗いなど、他児を見て学ぶ。
8	3本指を使い、指先の活動(つまむ、支える、回す)を洗練させる。	身の回りのものをよく触り、ツルツル、ザラザラの感触を指先で感じる。	環境の中の様々な物の名称を、文字として探してみる。	水の大切さを知る。身体全体で水に触れ、楽しむ。
9	手首をコントロールしながら、注ぎ口を容器につけずに注ぐ。	様々な形の立体を知り、実際によく触り、特徴を知る。	一音一文字の仮名の決まりを知り、言葉が出来ていることを知る。	体を動かす喜び、楽しみを知り、積極的に動かす。

■個別活動分保育計画

3才児用

月	身体各部の活動調整	感覚を通じた認識の整理	ことば・かず・歌う	自然や社会への関わり
10	タオルやスポンジの正しい絞り方を知る。 トング、スプーン、フォークを正しく扱う。	図形枠を、3本指でなぞり、様々な形の図形があることを知る。	1～10までの数の順番を知り、数えてみる。	集団生活の中で、順番があることを知り、待つことを覚える。
11	ボタン、スナップ、ベルトの扱いに慣れ、ひとりでできるようになる。	音、手触り、温度など、それぞれ対の物を探すことを楽しむ。	数字を2本指でなぞり、筋肉記憶と視覚協応により、数字を認識する。	友達と関わる楽しさを知り、人の話に耳を傾け、よく聞けるようになる。
12	端を揃えて紙を折ったり、絨毯やマットをきれいに撒いたりする。	対象物の性質により、運ぶ、積むなどの動作ごとに、指先や腕の筋肉の運動調整ができるようになる。	ひらがなを紹介し、文字を2本指でなぞる。	クリスマスの行事を通して、意味を知る。 音楽に親しむ。
1	針孔に糸を通し、裏表が分かり、針を順に刺し、縫うことができる。	音を聞き、強弱や音階を聴き分ける。	なぞることで、筋肉記憶と視覚協応により、文字を認識する。	食物の大切さを知り、感謝の気持ちを持つ。
2	できるだけ曲線に近づけるように、直線や曲線の違いを知り、描きなぞる。	色々な匂いを紹介し、環境の中から匂いを感じ取る。	えんぴつを正しく持ち、枠をなぞることにより、曲線をなめらかに描く。	自分の思い出を相手に言葉で伝え、相手の言葉も受け入れる。
3				

■個別活動分保育計画

4才児用

月	身体各部の活動調整	感覚を通じた認識の整理	ことば・かず ・歌う	自然や社会への関わり
4	室内での行動の仕方。 ゆっくりと、落ち着いて歩くことを知る。	運ぶ、積む、置くの動きで、手と腕の筋肉運動の調整をする。	シールに書いてある文字を、スタンプで押す。	進級し、新しい友達や保育者と出会い、生活の流れなどを確認してゆく。
5	正しい椅子の持ち方、机への出し入れの仕方を身につける。	大きい⇔小さい 太い⇔細い 長い⇔短いを 経験によって、識別し、言語化する。	えんぴつの持ち方を正しく知り、枠をなぞることで、直線、曲線をつなぐ経験をする。	外遊びのルールを、クラスごとに差異確認し、危険な場所をみて、知る。
6	物の丁寧な扱い方、持ち方、運び方を知り、身につける。	触覚(指先)を使い、微妙なザラザラの違いを感じ、識別し、対にする。	数学の筆順を知り、同時に数詞も一致させる。	春～梅雨の植物や虫などの観察をする。
7	水遊びの時、衣類、水着の着脱を、ひとりで行う。	様々な立体から、面のある物、ない物があることを知る。	0～10の数字と、量、数詞を一致させる。 0は「何もない」ことを伝える。	園庭のお道具の、正しい使い方や、片づけ方を知る。
8	身の回りにある危険物(ハサミ、えんぴつ)の持ち方、扱い方を知る。	色、形、大きさなど、寸法の異なる立方体を合わせてゆくことで、二項式、三項式の箱を完成させる。	50音の仕組みを理解し、配列があることを知る。 言葉づくりの準備につなげてゆく。	暑い夏の過ごし方や、注意することを知り、自分でも行ってみる。
9	落ちた物を拾う、こぼした物を拭く、などのやり方を正しく行う。	三角形の辺を2つ合わせることで、四辺形ができることを知る。	数には、奇数と偶数があることを、感覚的に知る。	思ったことを、相手に言葉できちんと伝える。 相手の気持ちになって考える。

■個別活動分保育計画

4才児用

月	身体各部の活動調整	感覚を通じた認識の整理	ことば・かず ・歌う	自然や社会への関わり
10	ハサミを正しく使い、細かい部分を切ることができるようになる。	数枚の材質の異なる布を、目隠しして、指先でよく触り、識別し、対にする。	ひらがなの写し書きを行い、筆順を知り、模写力を養う。	自分で行いたい活動を選び、主体的に過ごす。
11	箸を使い、小さい豆をつまむことができる。	目隠しをし、手のひらに乗せた板の重さを比べて、重い軽いを認識、区別する。	1、10、100、1000の、量の違いを体験し、量と数詞の関係を知る。	順番を守る。ルールのある遊びを行うなど、グループでの遊びを経験する。
12	玉結び、玉止め練習を行い、スムーズに縫う活動を行う。	指先の感覚のみで、大小種類の異なる豆を、同じ種類ごとに選別する。	数字の写し書き、正しい筆順でかけるようにする。	挨拶、返事を、場に応じてできるようにする。
1	こぼさないように物を運ぶ、音のしないように鈴を持つなどして、歩くことができる。	同色の濃淡を見比べ、「濃い」から「淡い」の順に並べる。	カタカナにも触れ、形と名称を一致させる。ひらがなの違いを知る。	冬の寒さを感じ、自然に触れ、冬ならではの遊びを楽しむ。
2	マッチを擦り、ろうそくに火を灯す。	材質の異なるものの温度を、手のひらを押し当て、同じ温度のものを探す。	カードを見て、その数字と同じ数だけ物をとるなど、数字と量を一致させる。0という数の量を知る。	トラブルが起きたとき、自分たちでも解決できるようにする。
3	ろうそくの炎が揺れないように、ゆっくりと歩き、天下を行う。	正三角形を、直角三角形2つ、鈍角三角形3つ、正三角形4つで構成する。	自分の名前を、写し書きで書いてみる。	年下のお友達にも、思いやりを持って接し、年長へ進級する心の準備をする。

■個別活動分保育計画

5才児用

月	身体各部の活動調整	感覚を通じた認識の整理	ことば・かず・歌う	自然や社会への関わり
4	イスを正しく持ち運び、線の上に置くことができる。 線がなくても、半円にすることができる。	音を記憶し、微妙な雑音の違いを識別し、同じものを対にする。	自分の名前の文字を五十音から探して、スタンプで押してみる。	新しいクラス編成の中、年少児、年中児との関わりをもって、年長児としての自覚を芽生えさせる。
5	物を持ち、落とさないように線の上を歩くことができる。	素材の質感、重量、形状を、触覚のみで識別できる。	自分の名前の文字の、書き順を知り、書いてみる。	当番活動を知る。 フン当番をやる。 ゴーヤに水をやる。
6	マッチを擦り、ろうそくに火を灯すことができる。	色の濃淡の微妙な差異を識別し、並べ方をデザインして楽しむ。	五十音を、ひらがなで、正しい書き順で書く。	花の日札を通して、地域との関わりを理解し興味をもち、感謝を表す。
7	野菜の特徴に合わせて、皮をむいたり、切ったりする。	積み木の色、寸法を合わせ、三項式の箱を完成させる。	物の数え方、日付の読み方を知る。	デイキャンプを通して、公共のルール、ナマールを知り、安全を適った行動をとる。
8	エプロンを、自分でつけ外しでき、正しくたたむ。	立体の名称を覚え、環境の中から立体と同じ形を探す。	四桁の数字、数詞、量の構成ができ、ビーズとカードでそれらを表す。	気象の変化や、太陽、星、月、そして宇宙に興味を持つ。
9	直線や曲線を縫うだけでなく、クロスステッチにも挑戦してみる。	基本図形、四辺形、三角形、多角形、曲線で描かれた図形の微妙な違いに気づく。	連続した数の規則を知り、表してみる。	様々な行事に向け、楽しみとともに、役割に対する責任感を持つ。

■個別活動分保育計画

5才児用

月	身体各部の活動調整	感覚を通じた認識の整理	ことば・かず・歌う	自然や社会への関わり
10	ハサミで、複雑な絵柄を切ったり、厚手の紙が切れる。	触覚のみで、大小種類の異なる豆を、同じもの同士選り分ける。	簡単な文章を読み、絵本を楽しむ。	ルールを守る中での遊びを楽しむ。また、工夫して発展させる。
11	蝶結びや、ベルト留ができるようになる。	立体を構成する面から、その立体が何かを言うことができる。	集団で、四桁の数字のビーズとカードによる、加法、減法を体験し、より理解を深める。	友だちと協力し合っ て事を行うことの喜びを味わう。
12	玉結びや玉留めなど、糸の後始末ができる。	音階を構成するベルを鳴らし、同じ音を探す。	カタカナの五十音の構成を知り、文字で、色々な言葉を表してみる。	行事へ、目標に向かっ て取り組む楽しさとやりがいを味わう。
1	目的に合った道具を選び、正しく扱うことができる。	面から線へ、抽象化されたものを図形として捉えられる。	郵便遊びを楽しむ。	新年の行事や、伝統に触れ、文化に親しみ、大切に する心を育てる。
2	清潔を保って、身だしなみを整えることができる。	ピタゴラスの原理を、感覚的に理解しながら楽しむ。	不規則音の仕組みを知り、読んだり書いたり、する。	友だちや異年齢児と、お互いの良さを認め合い、尊重し合う態度を身につける。
3	指先が洗練され、思い通りの活動ができることを楽しむ。	様々な形の三角形を組み合わせることで、四辺形や他の三角形、六角形ができることを知る。	時計の仕組み、読み方を知り、時間を気にする。	卒園、入学への期待を膨らませ、意欲的に活動する。

■文化

月	授業内容	教材など
4		
5	生物の観察と名称 〔木 花 アリ きんぎょ 鳥〕	実物（木 花 アリ きんぎょ 鳥） 色えんぴつ
6	生物の分類と整理 ★植物と動物 ★生物と無生物 ★骨のある動物と無い動物 ★卵で生まれる動物と赤ちゃん でうまれる動物	生物分類の図鑑 分類カード 生物の絵カード のり
7	葉のタンス 実物の葉を集めて貼る	タンス ハサミ のり 実物の葉
8		
9	見える部分の地球 世界地図をつくる	水と土 } 青と白 } 地球儀 色付け } 大陸の色の紙（青の円）
10	対称地形 半島⇔湾 島⇔瀬 地峡⇔海峡	紙ねんど 青の色水 ヘラ バット 青と茶の色画用紙
11	太陽の家族 地球 地球の人々の暮らし 「民俗衣装」	国旗 地球儀 国歌（音源） 人形 衣装 民芸品
12	「民俗音楽」 民俗衣装のカード	惑星の模型
1	私の歴史 私の家族	毎年1枚の自分の写真 紙
2	時を知る カレンダー	
3	発表	

■読み聞かせ

月	授業内容	教材など
4		
5	〔1. ことばの種をまく〕 美しく、リズム、響きのよい日本語に親しみ心地よさを知る。	わらべ唄 なぞなぞ絵本 「もこもこもこ」 「わたしのワンピース」
6	〔2. 言葉の世界〕 物語への興味。繰り返し、擬音などに会う。美しい文体に出会う。	昔話絵本「三匹のがらがらどん」 のりもの絵本「いたずらきかんしゃちゅうちゅう」
7	〔3. 絵本と日常体験〕 友だち、家族、行事、季節など、実体験と行き来することによって、体験と想像力、言葉を深める。	「そらいろのため」 「ひとまねこざる」 「たなばた」
8		
9	〔4. 多様な本の世界を味わう〕 ・生きる知恵となる昔話 ・想像力を育むロングリーダーの本 ・知的好奇心、自然への興味に応えるノンフィクションの本 ・わらべうたの発展（個⇒皆で）	「王さまと九人のきょうだい」 「けんたうさぎ」 「いやいやえん」 「しずくのぼうけん」 「おちばのしたをのぞいてみたら」
10		
11	〔5. 心に残る幼年童話〕 絵本から一歩すすんで、追体験しやすい幼年童話を読む。	「エルマーのぼうけん」 「なぞなそのすきな女の子」
12	・1話ずつ区切って、続きを待つ。 ・1年を振り返る。	「ぐりとぐらの1ねんかん」
1	〔6. 幼年童話の展開〕 ・耳からの読書の定着 ・シリーズの紹介	「ゆきのひ」 「けいていー」
2	〔7. 心の中で育つ物語と自主性〕 ・入学前の子どもたちに、乗り越える物語を届ける。 ・心の中に残って、育ててゆく物語に出会う。 ・自分で一冊の本を選べること。	「こすずめのぼうけん」 「くんちゃんのはじめてのがっこう」 「ぼくは1年生だぞ」 “1年生におすすめの本”
3		

■制作

月	授業内容	教材など
4		
5	書くことで、色を認識する。	画用紙 クレパス
6	平面に描くことから、少し立体感を持たせる。	画用紙 色画用紙 クレパス のり
7	立体に加え、技法を取り入れて体験してみる。	色紙 のり 絵具 和紙
8		
9	少しずつ次のステップへ進んで、大きなものに取り組む。	画用紙 絵具
10	大きなものに取り組み、想像する力を引き出す。	割りばし ボンド 台紙
11	今までやったことから、色々造ったり描いたりしてみる。	のり 色画用紙 クレパス 絵具
12	行事を意識した作品に取り組む。	画用紙 にり ハサミ 台紙 アルミフォイル クレパス
1		
2	自分を描く	クレパス 色画用紙
3	時間をかけ、じっくり一つの作品に取り組む。	画用紙 クレパス 絵具

■体操（3、4才児）

月	3才児		4才児	
	授業内容		授業内容	
4	基本の運動	走る、止まる スキップなど	基本の運動	正確にできる ようになる。
5	マット運動	前転、横転など	マット運動	前転 後転など
6	跳び箱運動	台上ジャンプ 開脚跳び	跳び箱運動	開脚跳び 閉脚跳び
7	水遊び	顔つけ バブリング	水遊び	
8				
9	運動会の練習	競技種目の 基本練習	運動会の練習	競技種目の 基本練習
10	鉄棒運動	ぶら下がり 両手支持 前まわり降り	鉄棒運動	前まわり 逆上がり
11	縄跳び運動			
12				前跳び 後ろ跳び
1	ボール運動	ドリブル キャッチボール など	ボール運動	ドリブル キャッチボ ールなど
2	ボールゲーム	中当て	ボールゲーム	中当て サッカーなど
3		サッカーなど		サッカーなど

■体操（5才児）

■リズム

月	5才児		授業内容
	授業内容		
4	基本の運動	リレー形式 複合的に行う指示行動	
5	マット運動	前転 後転 倒立など	リズムに合わせて体を叩く、動かす。 (手拍子、足踏み、歩く、走る、スキップ)
6	跳び箱運動	開脚跳び より高い段へ	マネっこリズム
7	水遊び		手作り楽器を鳴らしてみよう！ 生活の中、身近にあるものの音をだしてみよう！
8			小さい音に集中してみる。 聞こえるかな？
9	運動会の練習	競技種目の 基本練習	強弱や音質、音色など、音の種類や変化を知る。
10	鉄棒運動	前まわり 逆上がり	子どもたちで、指揮役やリーダー役をやってみよう！
11			アンサンブル
12		前跳び 後ろ跳び 回数の向上	
1	ボール運動	ボールの基本 運動 ドリブル	
2	ボールゲーム	キャッチボール など	
3		サッカー ドッジボール	

■食育計画

月	0才児 1才児	2才児
4	食事に興味をもち、雰囲気を感じる	石けんで手を洗う必要性を伝える
5	挨拶をして いただく。	みなで一緒に 挨拶をしていただく
6	保育者の食べる様子を見せながら一緒に食べる	手を使わず フォークで食べられるようにする。
7		エプロンシアターによる食育指導。
8	汁ものばかりにならないようにする。	暑さに負けない食事
9	エプロンシアターによる食育指導	マナーについて 興味をもたせる。
10	噛む大切さを知らせる。	楽しく食事する。 噛む大切さを知らせる。
11	楽しく食事する。	紙芝居による食育指導
12	食を通して行事や食文化に触れる	食を通して行事や食文化に触れる
1	食事をおいしくいただけることに感謝の気持ちをもつ。	食物に対する感謝の気持ちを大切に にする。
2	0才児はエプロンからナプキンへ 替えてゆく。	時間内に食べ終わるようにする。
3	1才児はナプキンをはずして食事 する。	配膳する。 食事当番をする。

■食育計画

月	3、4才児	5才児
4	食事に興味をもち、雰囲気を感じる	石けんで手を洗う必要性を伝える
5	挨拶をして いただく。	みなで一緒に 挨拶をしていただく
6	保育者の食べる様子を見せながら一緒に食べる	手を使わず フォークで食べられるようにする。
7		エプロンシアターによる食育指導。
8	汁ものばかりにならないようにする。	暑さに負けない食事
9	エプロンシアターによる食育指導	マナーについて 興味をもたせる。
10	噛む大切さを知らせる。	楽しく食事する。 噛む大切さを知らせる。
11	楽しく食事する。	紙芝居による食育指導
12	食を通して行事や食文化に触れる	食を通して行事や食文化に触れる
1	食事をおいしくいただけることに感謝の気持ちをもつ。	食物に対する感謝の気持ちを大切に にする。
2	0 才児はエプロンからナプキンへ 替えてゆく。	時間内に食べ終わるようにする。
3	1 才児はナプキンをはずして食事 する。	配膳する。 食事当番をする。

■保健計画

月	0才児 1才児	2才児
4	顔色を観察する。	顔色を観察する。
5	内科健診 歯科検診	内科健診 歯科検診
6	ぎょう虫検査	ぎょう虫検査
7	室内の温度調整 脱水症状にならないよう気を配る。	水分補給。 手をきれいに洗う。
8	特に午睡中、汗による体の冷えに注意する。	汗をかいたらすぐに着替える。
9	夏の疲れが出ていないか観察する。	夏の疲れが出ていないか観察する。
10	肥満体かやせているか、身体測定で確認する。	肥満体かやせているか、身体測定で確認する。
11	内科健診 歯科検診	内科健診 歯科検診 健診についての紙芝居を見る。
12	室内の換気をこまめに行う。	室内の換気をこまめに行う。
1	あまり寒い日を除き、屋外で陽に当たり、元気に遊ぶ。	寒さに負けず、体を動かす。
2	手洗いをきちんとし、伝染病予防に努める。	手洗い、うがいで、伝染病予防に努める。
3	新年度に向けて、体調を整える。	幼児クラスに向けて、体調面と情緒面に配慮する。

■保健計画

月	3、4才児	5才児
4	顔色を観察する。	顔色を観察する。
5	内科健診 歯科検診	内科健診 歯科検診
6	ぎょう虫検査	ぎょう虫検査
7	室内の温度調整 脱水症状にならないよう気を配る。	水分補給。 手をきれいに洗う。
8	特に午睡中、汗による体の冷えに注意する。	汗をかいたらすぐに着替える。
9	夏の疲れが出ていないか観察する。	夏の疲れが出ていないか観察する。
10	肥満体かやせているか、身体測定で確認する。	肥満体かやせているか、身体測定で確認する。
11	内科健診 歯科検診	内科健診 歯科検診 健診についての紙芝居を見る。
12	室内の換気をこまめに行う。	室内の換気をこまめに行う。
1	あまり寒い日を除き、屋外で陽に当たり、元気に遊ぶ。	寒さに負けず、体を動かす。
2	手洗いをきちんとし、伝染病予防に努める。	手洗い、うがいで、伝染病予防に努める。
3	新年度に向けて、体調を整える。	幼児クラスに向けて、体調面と情緒面に配慮する。